

- 5) 家計の収支動向と出生率への影響 ..... 伊原 一 (統計センター)
- 6) 経済学と生物学における生命価値の導出と、その人口学的含意  
 ..... 影山 純二 (明海大学)  
 (鈴木 透 記)

## シリア難民危機に関するハイレベルポリシーフォーラム (OECD 主催)、 並びに移民政策に関する作業部会 (OECD 主催) 参加報告

6月15日から17日にかけてフランス、パリにある OECD 本部でシリア難民危機に関するハイレベルポリシーフォーラム、並びに移民政策作業部会 (Working Party on Migration: WP2) が開催され、日本政府からは、厚生労働省の外国人雇用対策課副課長補佐とともに、国立社会保障・人口問題研究所からは是川が参加した。移民作業部会とは、OECD の雇用労働社会問題委員会 (ELSAC) の下に設置されている国際移民に関する作業部会であり、OECD 加盟国各国の移民政策に関する専門家が参加し、各国の参加者との最新の情報、意見交換を行うことを目的としたものである。

会合は3日間の日程で行われ、初日はシリア難民危機に対する OECD 加盟国の対応、及び協力関係の構築について議論された。冒頭、国連サミットスペシャリアドバイザーの Karen AbuZayd 氏が基調講演をするほか、OECD から事務総長特別顧問の Gabriela Ramos が参加するなど、どちらかというとうちとけた雰囲気で行われる移民作業部会と異なり、緊張度の高い会合となった。

その後、2日間にわたって開催された移民政策作業部会では OECD 側で進行中の移民政策に関するプロジェクトの進捗について報告が行われるとともに、それを受けた各国からの最新の情報の報告が行われた。移民政策に関して、日本は目立った存在ではないものの、抱えている問題には共通するものが多く、日本からも積極的に情報発信するとともに各国代表とのネットワークにも積極的に努めた。  
 (是川 夕 記)

## アジアの国際移動に関する国際会議

6月20日から21日にかけて中国香港特別行政区にある香港中文大学にて、アジアの国際移動に関する国際会議が開催され、アメリカ、カナダ、英国、香港、台湾、韓国からの参加者とともに、日本からは是川が研究報告を行った。同会議はトロント大学の Eric Fong 教授の呼びかけで行われたもので、近年、存在感が増すアジアの国際移動について知見を有する研究者が一堂に会し、研究報告を行うことを目的としたものである。

アジアの国際移動の特徴の一つとして、国際的な移民産業が発達していること、また、家事労働者など女性の国際移動が活発であることが指摘されている。研究報告は主にこうした点を巡って行われるとともに、アメリカ、カナダ、そして英国といった移民研究の先進地域の知見を参照しつつ、アジアの国際移動を説明する新たな理論枠組みの構築の必要性も提起された。また、是川からは、日本における外国人労働者の経済的達成の状況について報告を行い、他の参加者から大きな関心を寄せられた。

同会議を主催した Eric Fong 氏はアジア地域の国際移動に関して研究を深めるため、2016年の7月より香港中文大学の教授として就任しており、私からも今後、緊密に連携していきたい旨を伝えた。  
 (是川 夕 記)